

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」の書き方や、書く場所の定着が十分でない。 ・「は」「を」「へ」の理解や、平仮名を正しく書くことが苦手な児童がいる。 ・話したり聞いたりの一一人の力の差がある。	・ノートのマスビッグパットに映し、例示することで書き方や書く場所の定着を図る。【表現】 ・繰り返し文を書かせ、その都度指導していく。【表現】 ・聞き方の例や、話し方の話型を示す。【対話】【表現】		
算数	・いくつといくつ の理解が難しい。 ・問題文を読み取って考えることが難しい。 ・答えの書き方や単位の理解が難しい。	・ブロックやそろばん等の教具を使い、数の合成分解を視覚的に捉えられるようにする。【表現】 ・問題の場面を図や絵に表し、状況を理解して立式ができるようにする。【発見】【表現】 ・ものの数え方を繰り返し指導し、答えを書くことに慣れさせる。【表現】		
生活	・活動を楽しむことはできているが、気付いたことや思ったことをカードに書いたり、発表したりすることが苦手な児童がいる。 ・植物の世話など、常時活動に主体的に取り組めない児童がいる。	・カードの書き方や発表の仕方を例示して参考にできるようにする。【発見】【表現】 ・活動の中で友達と交流できる機会を設定し、相手に自分の考えを伝えられるようにする。【対話】【表現】 ・「きれいな花を咲かせたい」という思いをもたせたり、日々の小さな変化にも気付いたりできるように声掛けをしていく。【発見】		
音楽	・音楽の特徴を捉えて聴くことに慣れていない。 ・リズム打ちの難しい児童がいる。 ・楽器の扱い方に慣れていない。	・音楽に合わせて体を動かしたり、浮かんだイメージを絵や言葉で表現したりする。【表現】 ・身近な言葉に合わせてリズムを打つ練習をする。【表現】 ・楽器の基本的な扱い方を指導し、楽器に触れる機会を増やして楽器に慣れさせる。【発見】		
図画工作	・絵や工作に対する興味・関心が高く、意欲的に取り組む児童が多い。 ・イメージを形にするための表現力が弱い。 ・はさみやのりなど、用具うまく使うことができない児童が見られる。	・表現の幅が広がるように、具体的な表現技法を指導する。【表現】 ・友達の作品を鑑賞し、感想を交流して表現を共有する時間をもつ。【対話】【表現】 ・用具の使い方を丁寧に指導していく。【発見】		
体育	・勝ち負けにこだわり、十分に遊びを楽しめない児童がいる。 ・ルールや遊び方を理解できず、十分に遊びを楽しめない児童がいる。 ・遊びの興味の幅が狭く、遊びの経験が浅い児童がいる。	・勝ち負けがあるから楽しめる運動があることを繰り返し伝え、勝敗を受け入れられるようにする。【対話】 ・簡単なルールから始めたり、手本を見せたりしながら安心して参加できるようにする。【表現】 ・いろいろな遊びを提案し、遊ぶ機会を増やすことで、遊びに慣れさせる。【発見】【決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 文章を読み取る力に個人差がある。 - 話したり聞いたりの一一人の力の差がある。 - 漢字の読みはできるが、書く力に個人差がある。	- キーワードや大事な言葉に線を引くという活動を取り入れる。【表現】 - ペアで話したり、朝のスピーチをしたりして話す活動を積極的に取り入れる。【対話】 - 習った漢字は、日記や作文でも使うように普段から繰り返し指導していく。【表現・決定】		
算数	- 文章問題を読み取り正しく立式する力が、十分とは言えない。 - 時刻や時間の理解やものさしを用いた測定の仕方が十分に定着していない児童がいる。 - 計算する力に個人差がある。	- 文章問題からわかること、聞かれていることに線を引いて情報を整理する活動や、具体物等で考えさせる活動を取り入れる。【決定】 - 測定や計算など、日常の中で繰り返し練習をして、定着を図る。【表現・決定】 - 振り返りを書くことで、自分の考えを文章であらわす力を伸ばす。【表現・決定】		
生活	- 異学年や地域との関わりをより深めていくことが必要である。 - 身の回りのものに関心をもって課題を見つけ、解決しようとする力が不足している。 - 植物の世話など、常時活動に継続的に取り組めない児童がいる。	1年生との交流や町探検などの取り組みを計画的に行う。【対話】 「どうして」「なぜ」という疑問を投げかけ、自分なりに考えられるように指導したり、自分なりの結果を発表したりする機会を設定する。【発見】 「野菜を収穫したい」という思いをもたせたり、日々の小さな変化にも気付いたりできるように声掛けをしていく。【発見】		
音楽	- 鍵盤ハーモニカの技能には個人差がある。 - 合唱・合奏は楽しそうに取り組んでいるが、音程や音階の感覚が十分だとはいえない。 - 曲の特徴を捉えて聴くことに慣れていない。	- 音や指番号を確認しながら繰り返し練習し、できる部分を増やすようにする。【表現】 - 階名唱やリズム遊びを伴って歌うなど、楽しみながら取り組ませる。【表現】 - 参考曲なども一緒に聞かせて、曲の特徴を捉えられるようにする。【発見】		
図画工作	- 活動への興味・関心が高い児童が多いが、用具の使い方など技能に個人差がある。 - イメージを形にするための表現力が弱い。	- 用具に触れる機会を多く設け、安心して活動に取り組めるようにする。【表現】 - 友達の作品を鑑賞し、感想を交流して表現を共有する時間をもつ。【発見・対話・表現】		
体育	- 勝ち負けにこだわり、十分に遊びを楽しめない児童がいる。 - 各種の運動遊びを楽しむための基本的な動きが身に付いていない児童が多い。	- 勝ち負けがあるから楽しめる運動があることを繰り返し伝え、勝敗を受け入れられるようにする。【決定】 - 体づくり運動を中心に、全身を使った運動遊びを多くさせる。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 既習漢字を使わずに文章を書く児童がいる。 - 感じたことや考えたことを文章で表現する力に個人差がある。	- どの教科の学習においても、既習漢字を使うように繰り返し指導していく。【決定】 - 例文や定型文を示し、書き方のポイントを押さえて書く練習をする。【表現】		
算数	- 長さや量などにおける単位の変換が苦手な児童が多い。 - 文章題において問題文からテープ図を考えたり立式したりすることが苦手である。	- 一つの単位を表すときに他の単位も一緒に換算させて指導する。【発見】 - 自分の考えをノートに記入したり交流したりすることで、友達の考えを取り入れて他の問題にも応用できるように繰り返し指導する。【対話】【表現】		
理科	- 生活経験や既習事項を根拠にして、予想を立てることに個人差がある。 - 学習したことを生活と結び付けて考えることが難しい。	- 単元の導入で生活経験を想起させたり、既習事項を振り返ったりして、根拠をもとに予想を立てられるようにする。【表現】 - 単元の学習の後には、生活と結び付けて振り返ることができるようにする。【発見】【表現】		
社会	- 日常生活と関連付けながら課題を解決しようとする意欲が低い。 - 資料を適切に活用したり、読み取ったりする力が十分でない。 - 分かったことや考えたことを課題と関連付けて表現することができない。	- 学習問題を日常生活と関連しやすいものに設定する。また、「調べたい」「知りたい」と感じさせる学習問題の設定を工夫する。【発見】 - 資料をどのように活用し、読み取ったのかを全体交流で価値付けを行い、丁寧に指導し定着させる。【対話】【表現】 - 自力解決の途中で交流を取り入れたり、関連付けて表現しているものを価値付けたりすることで、着目点や表現の仕方を学ばせる。【対話】【表現】		
音楽	- 曲の情景や自身の感情を演奏に反映させることが難しい。 - リコーダーのトーンホール、サムホールを正しくふさぐことが難しい。	- テクニック的なことだけでなく常に曲の情景や自分の感情を意識させる。【発見】 - 目ではなく、指先の感覚で正しくふさぐことができるようにする。【発見】		
図画工作	- 新しい課題に積極的に取り組む姿勢がみられるが、思い通りにいかないとすぐにあきらめてしまう児童がいる。 - 創作に夢中になりすぎて、めあてから外れてしまう児童がいる。	- 作りたい気持ちを大切に、思い通りにいかないこともプラスにできるような言葉がけをする。【発見】【対話】 - 友達の作品を参考にし、自分の作品にも取り入れるなど、視野を広げた創作ができるようにする。【決定】【表現】 - 作品がめあてに合った創作か確認する時間をとる。【決定】		
体育	- 運動することや体を動かすこと、苦手なことに取り組むことへの意欲の差が大きい。 - 体力がないため、疲れやすく諦めやすい。 - 規則や作戦を工夫したり、友達のよい動きを取り入れたりしようとする意欲が低い。	- 学習の見通しを持たせ学習意欲を高めると共に、自分の力に合った場を設定し自主的に取り組めるようにする。【決定】 - 授業に3分完走を取り入れ、諦めずに走り切る達成感を味わわせ、持久力を付ける。【発見】 - 学習の目標を明確にした授業を展開し、目標を達成するための思考を促すようにする。【発見】【対話】【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 文や文章を書く上で、既習の漢字を進んで書かない児童が多く、定着していない。 - 話し手が伝えたいことを意識して聞き、必要なことを記録する力が弱い。 - 中心となる語や文を見付けて要約する力が弱い。	- 新出漢字を学習する際に、漢字のもつ意味や熟語の確認をし、使用する場面を想定した文作りを積極的に取り入れていく。【発見・表現】 - 学習活動の中で、交流や発表する場面を設定し、メモを取る力を身に付けさせる。【対話・表現】 - 長い文章の内容を短く伝えるよさを実感し、落としてはいけない語や文にアンダーラインなどを引き、要約する活動を充実していく。【発見・表現】		
算数	- コンパスや三角定規を使って作図することが苦手な児童が多い。 - 文章題を読んで、口を使って立式したり図に表したりすることが苦手である。	- 三角定規などの教材を使って興味関心を引きつけるような学習を取り入れていく。【発見・表現】 - 自分の考えをノートに記入し、友達と交流したり考えを深め合ったりすることで応用できるように指導していく。【対話・表現】		
理科	- 観察や実験結果を基に的確に考察する力が弱い。 - 観察・実験結果から知識への定着を図る力が弱い。 - 学習したことを生活と結びつけて考えることが難しい。	- 問題をしっかりと捉えさせ、自分の立てた予想を基に実験結果を見て、論理的に考察する力を身に付けさせる。【表現・決定】 - 単元のまとめをしっかりと行い、知識の定着を図る。【表現】 - 単元の学習の後には、生活と結び付けて振り返り、実感をもてるようにする。【表現】		
社会	- 資料を読み取ったり、活用したりすることが苦手な児童が多い。 - 自分の考えをもったり、考えを表現したりすることが苦手な児童が多い。	- 地図やグラフ等の資料の基本的な見方を丁寧に指導し、定着させる。【発見・決定】 - 資料によって得られる情報が異なることを理解させる。【発見・決定】 - 資料から読み取って分かったことにアンダーラインを引いたり、箇条書きでまとめたりして、自分の考えをもつ力を身に付けさせる。【表現】		
音楽	- 口を大きく開けて歌うことに抵抗がない分、地声で歌っていることに気が付かない児童が多い。 - 読譜能力が低く、階名を書くことに時間を要する。	- 喉の奥を開ける、歌の響きを意識する場所などを歌唱指導の際に都度止めながら確認をして定着を図る。【発見・表現】 - 一か月一音の定着を目指し、黒板に掲示して、いつでも児童が確認できるようにしていく。【発見・対話】		
図画工作	- 楽しいだけでなく、めあてに沿った活動をする。 - 課題や作品に対して、自分の表したいことや伝えたいことを深く掘り下げて考えたり表したりすること。	- めあてを明確にし、ICTを活用するなどして道具や材料について知識理解を深め、目的意識をもって課題に取り組めるようにする。【発見・表現】 - 個々の習熟にあった声掛けや指導を行い児童の思いを認めたり、達成感を味わえるよう鑑賞や振り返りの時間を取ったりする。【対話】		
体育	- ボールを操作する運動に課題のある児童が多い。特に投げる運動が苦手な児童が多い。 - 運動の特性に気付き、活動に生かすことができていない。	- 体づくり等でボールの投げ方などボールの扱い方を知識として理解したうえで、ゲームに生かせるようにする。【発見・決定】 - 運動の特性を指導者が理解し、特性に触れさせて運動を楽しむことができるようにさせる。各単元で重要になる体の動きや、各運動の中での動き方について説明し、理解できるようにする。【対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	【読む】 - 文章全体を大まかにつかんだり、筆者の考えの中心を捉えること 【言語】 - 活用できる語彙を増やすこと - 習った漢字を活用すること	「読むこと」を扱う単元において、物語の感想や説明文の筆者の考えについて皆で話し合う活動を通して、要旨を捉える力を伸ばす。また、宿題等を活用して繰り返し音読する機会を増やす。 【発見】【対話】【表現】 - 語彙を増やすためのペアやグループでの話し合い活動を取り入れた授業をする。【対話】【表現】 - 新出漢字の学習をできる限り早く進め、習った漢字を活用する機会を増やす。【発見】【表現】		
算数	- 図形の作図や角度を求めることが苦手な児童が多い。 - 小数のわり算など基本的な計算を苦手にする児童が多い。	- まずは、三角定規の角度をきちんと覚えるとともに基礎基本の徹底を繰り返し指導する。【表現】 - コンパスなどの教具の使い方をその都度確認し、興味を引く教材にも取り組み関心を引き付ける指導をしていく。【対話・表現】 - 単元の終わりの復習の際に、基本的な計算問題を取り入れて、既習事項の確認をしながら計算の振り返りをする。【表現】		
理科	見聞きた自然現象から、各々で課題を設定し、探求していく姿はよく見られるものの、論理的に思考を整理したり、言語化したりすることが苦手な児童が多い。	自分たちで設定した実験は可能な限りやらせることで主体性をさらに伸ばしつつ、結果、考察をまとめる際にスモールステップで丁寧にまとめていくことで思考を整理する練習を重ねていく。【発見】		
社会	- 資料から必要な情報を読み取ることが苦手である。 - 気候や地形の特色と産業を関連付けて考え、自分の考えをもつことが苦手である。	- グラフなどの資料から必要な情報を読み取る見方を丁寧に指導し、定着させる。【対話】 - 友達の意見も参考にし、自分の考えをもつ力を身につけさせる。【発見・表現】 - 既習の都道府県や地形の特色は復習を重ね、習得させる。【表現】		
音楽	- 読譜能力に欠ける児童が多く、音楽記号を理解して演奏に活かすことが難しい。 - 正しい発声で歌うことが徹底できていない。	- ひと月に一音を提示して、毎時間音や記号、拍の長さを全体で確認する時間を設定して定着を図る。【発見】 - 歌唱前に腹式呼吸や口の開け方、声を響かせる方向を確認して、繰り返し実践して慣らしていく。【表現】		
図画工作	- のこぎりやペンチ、彫刻刀などの道具の扱い方について知識・技能の定着に個人差がある。 - 課題や作品に対して、自分の表したいことや伝えたいことを深く掘り下げて考えたり表したりすること。	- ICTを活用するなどして道具や材料について知識理解を深め、目的意識をもって課題に取り組めるようにする。【発見・表現】 - 個々の習熟にあった声かけや指導を行い児童の思いを認めたり、達成感を味わえるよう鑑賞やふりかえりの時間を取ったりする。【対話】		
家庭	- 生活の中で経験に差があるので、授業の中でたくさんことを実際にやってみて家庭の仕事に目を向ける必要がある。 - 自分の特性を見つめ、自分に合ったやり方、できる方法を考える力を伸ばしたい。	- 児童の興味関心にあった学習課題を設定する【発見】。 - 授業の最初にその日の課題を明確にする。 - 課題に対して自分がどのように考え、実践したかを言葉で説明できるように振り返りに書く。【表現・対話】 - 自主的に家庭で復習し、トライカードに書くよう声掛けを繰り返し、経験値を上げていく。【決定】		
体育	- 運動の特性に触れ、運動を楽しもうとすること。 - 対話を通して、仲間と協力して課題を解決しようとする。	- 運動の特性を提示し、何を教師側が求めているのかを分かるようにし、運動を楽しめるようにする。【発見】 - 何が課題なのかを明確にし、その課題を解決していくことを繰り返し経験させる。【表現・対話】		
外国語	- 外国語の理解をあきらめてしまう児童と、授業内容に前向きな児童の差がある。 - コミュニケーションに対してのハードルを感じている児童が多い。	- 授業の基本指示を英語で行う。よく聞けば意味が分かるという経験をさせるために、発問をよく練り価値付けしながら授業を行う。【表現】 - アクティビティーを用いて、児童間で英語でのコミュニケーションを増やす。【対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・ 語句の意味や使い方の理解が不十分である。 ・ 事実と感想、意見とを区別して書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることが難しい。 ・ 文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力が弱い。	・ 授業中、一人1冊辞書を手元に用意させ、語句を調べられるようにする。【表現】 ・ 本の紹介やインタビューの発表などから、説明的文章を参考にし、経験や根拠となることを用いながら、文末表現に注意して書けるよう指導する。【対話・決定】 ・ 構成メモを書く活動を通して、文章中から事実と感想、意見を正しくとらえられるようにする。【表現・決定】		
算数	・ 既習した計算問題を解くことが難しい児童が多い。 ・ 直方体などの体積を求めることが難しい児童が多い。 ・ 文章問題を読んで、図に描いて立式することが難しい児童が多い。	・ 単元後の終末の学習の際に、既習の計算問題を取り入れて、習熟の定着を図る。【発見】 ・ 既習事項を振り返るとともに、児童自ら問題を作って友達同士で解くことで、興味関心を引き付ける指導を行う。【対話・表現】 ・ 自分の考えをノートに記入し、それをみんなの前で発表したり、友達同士が話し合ったりする指導を取り入れていく。【対話・表現】		
理科	・ 実験に主体的に取り組む、課題を考え、その課題を解決するために実験方法を設定することもできる児童が多い。しかし、得られた結果から考えを深める力に個人差がある。 ・ 各自然現象を関連付けの力が乏しく、理科を暗記教科として覚えようとする児童がみられる。	・ 考察の際に、①の実験結果から分かること、②の実験結果からわかること、のように1つ1つ丁寧にまとめていくことで論理的に考える練習をしていく。【発見・表現】 ・ 自然現象や各実験のつながりを意識させ、単元のまとめを行う際に関連付けながらまとめさせることで体系的に知識を獲得させる。【発見・表現】		
社会	・ 資料を見て自分の考えをもつのが難しい。 ・ 問いに関係する適切な資料を選ぶことが難しい。	・ 政治や歴史においては、人々が何に悩み、何を願ってどう行動したのかを想像して考える時間を設ける。【発見】 ・ 友達の意見も参考にし、自分の考えをもつ力を身につけさせる。【発見・対話】 ・ 資料によって得られる情報が異なることを理解させる。【発見】		
音楽	・ 読譜能力に欠ける児童が多く、音楽記号を理解して演奏に活かすことが難しい。 ・ 全身を上手に使う発声することが難しい。 ・ 曲想をつくる上でどのように表現したいのか考え表現する力に個人差がある。	・ ひと月に一音を提示して、毎時間音や記号、拍の長さを全体で確認する時間を設定して定着を図る。【発見】 ・ 腹式呼吸を意識させるために、歌唱前に呼吸の練習を繰り返し身体で覚えさせていく。【表現】 ・ 音楽を特徴付けている要素や仕組みを提示して、どのような構成になっているのかを確認する。教科書に考えを書き込ませて、全体で共有して想いをまとめていく。【表現】		
図画工作	・ 自由に発想したり、新しい表現を試したりすることが少ない。 ・ 自分の表したいことや伝えたいこと考えたり、自ら課題を見つけたりして、作品づくりやめあてに対して自分の思いをもって活動すること。 ・ 見通しをもって活動することや作品をより良くしようとする。	・ ICT を活用するなどして道具や材料について知識理解を深めたり、参考作品に触れて自由な発想を広げたりしながら課題に取り組めるようにする。【発見・表現】 ・ 材料に触れることを通して、幅広い表現と出会い自ら発想や構想を深めていける環境をつくる。【対話・決定】		
家庭	・ 家庭の仕事でできることを生かし、家族の一員としての意識を高めることを目標に学習に取り組んでいる。	・ 学習のめあてを明確にし、随時確認させる。【発見】 ・ 生活に生かせる学びを見つけて、ふり返りの記録を積み重ねていく。【表現・決定】		
体育	・ 自分の課題を理解しきれていない児童が多い。 ・ 各単元の体の動かし方（運動技術）を捉えにくい児童がいる。	・ 器械運動や陸上運動等の個人種目において ICT 機器を使ったり、場の設定を工夫したりすることで、課題を把握して解決できるようにする。【発見】 ・ 学習カードを活用し、毎時間振り返りを行うことで、自分の体の動かし方を確認し次時への見通しをもてるようにする。【対話・発見・表現】		
外国語	・ 外国語を理解しようとするのをあきらめてしまう児童と、授業内容に前向きな児童の差がある。 ・ コミュニケーションに対してのハードルを感じている児童が多い。	・ 外国語の授業を、英語で行う。指示をよく聞くことで意味が分かるという経験をさせるために聞きたくなるような内容にする。【表現】 ・ アクティビティーや発表を通して、児童間で英語を使ったコミュニケーションの恒常化を狙う。【対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。